

【解答例】

I

問1 1

問2 a-5 b-3 c-6

問3 イギリスなど4国の連合艦隊が長州藩の外国船砲撃への報復として下関を砲撃したことを機に、長州藩の尊王攘夷派は攘夷の不可能を悟った。その後、列国が艦隊を送って朝廷への圧力を強めると、朝廷は通商条約の勅許を与えた。

問4 ア-6 イ-8

問5 IMF 8 条国に移行し、国際収支上の理由による為替管理が行えなくなった。

II

問6 市長は市会の推薦を受けて内務大臣が任命し、町村長は町村会で公選された。

問7 袁世凱の後継者となった段祺瑞を支援することで、日本の権益確保を図った。

問8 6

問9 ① ニクソン大統領が金・ドル交換停止などを発表すると、各国は変動相場制に移行して日本でも円高が進行したが、その後は固定相場制が一時的に復活した。

② a-1 b-4 c-2

問10 a-5 b-4 c-6

問11 4→2→3→1

問12 ア-1 イ-3

問13 ソ連による東欧支配が強化されると、アメリカと西欧諸国は北大西洋条約機構を結成した。その後、西ドイツがアメリカなどに再軍備を認められ、北大西洋条約機構に加盟すると、ソ連と東欧諸国はワルシャワ条約機構を結成した。

Ⅲ

- 問 14 問屋が産地の百姓らに資金や原料を貸与して、自家で生産させたものを買う上げる問屋制家内工業とは違い、工場制手工業では地主や問屋が工場を設立して農村などから奉公人を集め、分業と協業による生産を行った。
- 問 15 ① 工場法
② 5
③ 2
- 問 16 a - 5 b - 8 c - 7
- 問 17 1 → 4 → 3 → 2
- 問 18 a - 6 b - 4 c - 2
- 問 19 a - 1 b - 3 c - 2 d - 4
- 問 20 日本は湾岸戦争が起こると、多国籍軍に多額の資金援助を行った。その後、PKO協力法を成立させてPKOにおける自衛隊の海外派遣を可能にした。

Ⅳ

- 問 21 日本の輸出構成で全製品の割合が増加し、輸入構成で全製品の割合が減少して原料品の割合が増加していることが、日本の工業化と関連していると読み取った。
- 問 22 日本がインドから綿花を輸入し、インドに綿織物を輸出していたことを背景に、高橋是清が行った金輸出再禁止により、波線部 α の時期に円安が進んだことが、輸出品価格の低下や、インドへの輸出品増加と関連していると読み取った。